〔曲名〕 望まれし日

Giorno Desiato !

〔曲種〕

綺想曲

〔作曲者〕 G.Branzoli

ジゼッペ ブランツォーリ

〔編曲〕 Jiro Nakano

中野二郎

作者については本誌第6号を参照されたい。

この曲は1920年（大正9年）シンフォニア・マンドリーニ・オーケストラによって発表せられたのが本邦初演であろう。

作者は1909年に逝くたのであるから、当時の編成としては最も大規模なものと云わなければならない。

総譜によれば第1、第2のローマ風マンドリン及び第1、第2のロンバルド風マンドリン、マンドラ、ギター、アルモニウム、ハープ、ティムパニーとなっている。

出版社ヴェンテューリーニは又別に二つのマンドリンとピアノ及び第1、第2マンドリン、マンドラ、ギター四重奏の形に出版したが、

ギターがハープの代役をつとめたり、楽器の不足から来る表現が大幅に減少せられて之等は原曲の倅（おもかげ）をそこなっている。

然しここでは便宜の為、総譜の最下段にハープの代役をつとめるギターのパート（原作者による）を書いておいた。

第2マンドリン（二つに分けられる）マンドロンチェロ、マンドローネは原曲をそこねない程度に私が加えたもの。

本曲の訳名についても諸説があったが表紙画には、遠い山の彼方に旭光が射し始めた様子が描かれ、之は惟うにマンドリン音楽が次第に隆盛に赴き、漸く開花期を迎えた喜びを叙したものと解される。

1972年5月1日発行

イタリアマンドリン百曲選第15集より